



あかの

【めざす児童像】

- すすんで学習する子 (知)
- 人や物を大切にする子 (徳)
- 健康で明るく元気な子 (体)
- 美しいものに感動する心を持つ子 (美)

～ 1 学期も残り 2 週間～

夏休みに向けてラストスパートを

先週は月曜日から発熱や感染症等での欠席者が大きく増え、火曜日は全校 24 名中 9 名が欠席をするという状況になっておりました。特に欠席の多かった 3・4 年生は、感染を広げないためにも水曜日からの 3 日間を学級閉鎖とさせていただきました。

週が明けて、今日はほぼ全員が登校でき、いつもの赤野小学校がもどってきました。4 月に新学年となつてがんばってきた 1 学期も残り 2 週間足らずとなりました。学習のまとめをしっかりと行い、楽しい夏休みが迎えられるように、最後までがんばりましょう。

6月下旬に行われた学校行事

1・2年生ナスの収穫体験

6月21日(水)に、安芸市の事業を活用して「ナスの収穫体験」を1・2年生が行いました。学校で収穫の際の注意を聞いた後、地域の宮崎武士さんのハウスへ移動。たくさんのナスを収穫してもらい、みんな大喜びでした。その後学校へ戻り、ナスについてのいろいろなことを教えていただきました。最後は家庭科室で「なすピザ」を試食してもらい、なすが苦手な子もしっかり食べていました。



防犯教室

不審者への対処の仕方を身につけるとともに、危機管理意識の向上を図ることを目的に、6月26日(月)に防犯教室を行いました。DVDを視聴しながら不審者への対処の仕方を安芸警察署の方に教えてもらい、最後に6年生がロールプレイを行って実践をしてみました。習った合言葉「いかのおすし」で、怖いめにあつたらどうすればよいかしっかり覚えておきましょう。



起震車体験

来るべき南海トラフ地震に備え、学校では防災の授業や年4回の地震津波避難訓練を毎年行い、防災学習を行っております。その一環として、6月29日(木)に「起震車体験」を行いました。当日は地震や防災について話を聞いた後、起震車に乗り込んで震度7の揺れを体験しました。現在の起震車にはテーブルや椅子が設置されておらず、何もない床に伏せて丸くなって身を守るようになっています。大きな揺れを体験した子供たちには、今回の体験を今後の防災学習や防災意識に活かしてほしいと思います。



2つの説明会のご報告

自校式給食施設の段階的廃止とそれに伴う 給食センターへの統合計画についての説明会

6月27日（火）にパソコン室にて開催いたしました。まず初めに、安芸市教育委員会の担当者の方から、次の4点について説明がありました。

①厨房機器点検結果について

赤野小学校の厨房機器8品のうち、5品がE評価（A～Eの5段階）で改善もしくは入れ替え等の検討が必要である。この他に、冷蔵庫・冷凍庫が3台入替時期となっている。

②自校式給食校へ給食センターの出前給食及び試食会について

赤野小学校は昨年11月7日に実施。保護者・地域の方も数名が参加してくれた。児童、保護者・地域の方ともに、「美味しかった」「温かかった」といった感想をいただいた。

③安芸市立学校給食センターの学校給食について

安全で安心な給食を提供するための給食調理に関わる体制や、安芸市の特産物を取り入れる（地産地消）などの献立の工夫、年間の献立内容や安芸市の学校給食の歴史について説明がされました。

④段階的廃止及び統合の計画について

施設・設備等の状況を考慮し、令和10年9月までに自校式3校の学校給食室を段階的に廃止し、給食センターへ統合する。赤野小学校は最も老朽化しているため、令和6年9月に統合する計画である。まだ決定ではないが、この方向で進めていく予定である。

説明後、質疑応答が行われ、参加されていた保護者から、厨房機器の点検の頻度や全て入れ替えた場合の費用、センターから搬送する間に冷めないか等の質問が出されました。入れ替えた場合は1,100万円以上かかることや、搬送用の食缶は昔に比べ保温性が向上しており、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べられるようになってきているといった回答をいただきました。

今後は議会等を通じて決定していくということですが、示した計画に沿って進めさせていただくということを確認し、終了いたしました。

「せんだん」伐採に係る説明会

7月5日（水）に体育館で開催し、13名の地域の方・保護者に参加いただきました。まず初めに、校長から今回の伐採することに至った経緯について次のように説明（新型コロナウイルス感染のため出席できなかったため、教頭が代読）をしました。

- ・昨年8月に鹿児島島の小学校で、校庭の大イチョウの折れた枝の下敷きとなり校長先生が亡くなられるという事故があった。事故を受け、文部科学省から出された文書に基づき、樹木の安全点検を行ったところ、幹の内部の腐食が進み空洞化しており、倒木の危険性があることが判明した。
- ・学校と安芸市教育委員会で協議し、児童の安全を守るためには伐採をするしかないという結論に至り、伐採のための予算が計上され、6月に伐採を始めようとした。
- ・その際に、この「せんだん」は地域の方が大切に見守り大事にしてきた歴史があり、地域のシンボルとなっていることを教えられ、地域の方にきちんとした説明も行わずに伐採することはできないという思いに至り、本日の説明会を開催した。
- ・地域の皆さんの思いを承知したうえで、校長として優先すべきは児童の安全であるため、伐採にご理解いただきたい。また、伐採後は子供たちと植樹し、新たな赤野のシンボルを育てていきたい。

その後、安芸市教育委員会の担当者からも補足説明をしていただき、質疑応答に入りました。参加の皆さんからは、「新たに芽吹くような切り方はできないか」「根は残してほしい」「切って終わりでは納得できない。切った後どうするかを考えてほしい」など、せんだんを大切に思っていることが分かるご意見を数多くいただきました。すぐに回答できないご意見もありましたので、次のことを確認してこの日は終了いたしました。

○切り方や切った後どうするか等、安芸市教育委員会が業者と相談をして方法を提案する

○その方法を学校に伝え、学校運営協議会で協議し、皆さんが納得いただける案としたうえで伐採する地域の皆様も、児童の安全のために伐採が必要なことはご理解いただいておりますので、地域の皆様の思いに答えられる方法を考えていきたいと思っております。